

SLyDIF_I Kyoto-theme Demo

Masaki Waga

2023 December 9th

SATySF_I Conf を後日追ったときの感想

「色々面白いけど、そもそもここ最近
SATySF_I を全く使っていないな ...」

SATySF_I Conf を後日追ったときの感想

「色々面白いけど、そもそもここ最近
SATySF_I を全く使っていないな ...」

→スライドでも作ってみるか

slydifi-kyoto-theme

- 普段使っているのと同じような theme を組んでみた
 - 実は普段は 4:3 のスライドを使っているというのは秘密
- ロゴの画像を指定したり footer も設定したりできる
- ドキュメントは ... 間に合わないので (多分) 後で書きます ...
- ある程度安定してきたら、どうにかして公開すると思います

Colorbox

こういうのを書きたいこと、ありますよね！

Colorbox を使えばできますよ

- ↑ みたいな alert みたいなものは ColorBox で実現できる
- こういう枠を任意の場所に追加するのも、SlydifiGraphics.put-text とかを使えば実現できそう？
 - 実はちょっと斜めにしたい、とかもある ...

勿論色も変えられます

Enumitem

- 柔軟な箇条書きは Enumitem で実現できる
 - 例えば
 1. ここは数字で
 - b. ここはアルファベットで
 - ここは普通の bullet で
- 甲：もはや適当なテキストすら書ける

BiB Υ F I

- 参考文献を載せるのであれば、BiB Υ F I が使える
一方で以下を何とかしたい
- Citation のスタイルがちょっと好みではない
 - `bibyfi-IEEETran.satyh` みたいなものを実装すれば良い
- 改ページ処理が上手く行かないような気がする
 - これは BiB Υ F I 本体の工事が必要？
 - L A T E X の beamer なら `allowframebreaks` オプションで対応可能

その他

- Figbox や Easytable も便利です
 - が、今回はちょっと省略

ここからは
「こういうものが書ける」
という具体例

文字列パターンマッチング

- 入力
 - 文字列 : "Nobody knows now"
 - パターン : "now"
- マッチング結果 : Nobody k**nows** **now**

文字列パターンマッチング

	N	o	b	a	d	y	k	n	o	w	s	n	o	w
×	n	o	w											
×		n	o	w										
✓								n	o	w				
×									n	o	w			
×												n	o	w
✓												n	o	w

文字列マッチングの「読み飛ばし」

Idea: 事前にパターンを解析して、不要なマッチングを飛ばす

- 不要なマッチング：飛ばしても結果が変わらない
- 事前にパターンを解析して、
 1. 不要なマッチングの情報をテーブルとして計算し
 2. マッチング時にテーブルを引きながら不要なマッチングを飛ばす
- 数多くのアルゴリズムが知られている
例：Quick search [D. Sunday 1990]

References

- [1] D. Sunday, "A Very Fast Substring Search Algorithm," *Commun. ACM*, pp. 132–142, vol. 33, no. 8, 1990.